

与野西北八王子学校区学校運営協議会会報

地域の取組に絞って熟議

～ 「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」の実現のために ～

10月26日（木）に令和5年度第2回与野西北八王子学校区学校運営協議会が八王子中学校第一会議室で開催されました。今回は中1ギャップ解消に向けた市の施策である「つぼみの日」の八王子中学校での取組を見ていただくために日程を合わせて開催しました。

まず、「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」の実現のために、地域の取組に絞って3グループに分かれて熟議をおこないました。その結果、以下の意見にまとまりました。

- ・挨拶の意義が浸透し、児童から挨拶することができるようになった。
- ・中学校と小学校の合同挨拶運動は有意義である。
- ・不審者の声掛け事案にならないようにするにはどうしたらよいか。
→地域住民であることが分かるように、名札を付けたらどうか。
- ・自治会で「子どもたちへの声掛け、挨拶をよろしくお願いします。」を呼びかける回覧を作ったらどうか。
- ・「挨拶通り」を設置したらどうか。

その中で具体的にすぐできるのは、小・中合同挨拶運動に地域住民が参加する取組と挨拶を呼びかける回覧を自治会で回す取組となりました。多様な意見を受け、より充実した取組を地域が当事者意識をもって継続・推進していくこととなります。早速、10月30日（月）、31日（火）7時50分から行った小・中合同挨拶運動に多くの地域の皆様が参加してくださいました。

また、昨年度の学校運営協議会において児童から次のような意見が出されました。

挨拶をしない原因として「知らない人だから」と答える人が多かったので、お互いを知ってもらうためにPTAバザーの復活ができないかという意見です。

その意見を受けて、与野西北小学校PTAが「謎解きゲーム」イベントを土曜授業日である11月18日（土）の午後に実施します。児童の意見が反映された取組になります。今年度は初めての試みでしたので、児童、保護者、教職員のみで実施しますが、来年度は地域の皆様にも参加してもらう方策を考えていく必要があります。児童も挨拶の活性化のために挨拶ビンゴに「地域の方に挨拶をする」「中学生や家族に挨拶をする」という項目を入れるなど、工夫を図っています。ご協力いただいた地域・保護者の皆様ありがとうございました。挨拶の活性化には、家庭・地域の力が必須です。どうぞご理解と日頃のご指導とご支援をお願いいたします。そして、家庭、地域、学校が当事者意識をもって連携し、「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」を育成していきましょう。今後も熟議を重ねながら、粘り強く共通認識・課題解決をしていきます。

後半は「つぼみの日」の八王子中学校の生徒たちの取組を見ていただきました。西北小学校の6年生が参加し、中学校への不安を解消するために八王子中学校の生徒会役員が工夫を凝らして中学校の様子を小学生に伝えていました。生徒が主体的に取り組んでいることと小中の連携が進んでいることをご理解いただきました。

その他、いじめ防止対策委員会の報告や学校の決まりや校則、学校評価について話し合いが行われました。

【熟議の様子】



【「つぼみの日」の様子】



【小中合同挨拶運動の様子】

